

平成28年度第1回八雲町立図書館協議会議の記録

- とき 平成28年5月17日(火) 午後4時00分～午後5時30分
○ところ 八雲町立図書館集会室
○出席委員 岩元広一、伊藤義親、伊藤一年、石川和子、戸来郁子の5名
○説明員 教育長、図書館長(他職員3名)
○傍聴者 なし

《会議要旨》

- 1 開会 (進行) 図書館長
- 2 あいさつ 八雲町教育委員会教育長 田中了治
八雲町立図書館協議会委員長 伊藤一年
- 3 各自自己紹介 (進行) 図書館長
- 4 議題 (進行) 伊藤一年会長
 - (1) 議案第1号 平成28年度八雲町立図書館・熊石総合支所図書室事業計画について
事務局より、説明。
青空図書館の開催について、公民館ロビーへの本棚の設置、パノラマパークへの除籍絵本の提供、利用者向けアンケート調査の実施など議案書外の追加項目について説明。
(委員) 盛りだくさんで素晴らしい事業計画なのでどんどん実行して行ってください。利用者アンケートは外だけではなく中身の充実を図るためにもぜひ実施して、サービスの質の向上につなげてほしい。
(委員) アンケート事業は業務改善のためにもぜひ参考にしていってほしい。
(委員) 図書館フェスティバルはとてもいいイベントだが、町民に対して周知が行き届いていないように感じるのもつたいない。開催を知らなかったという声も時折耳にする。他のイベントについてももっと周知をさせて実施してほしい。
(事務局) 広報・ホームページへの掲載、図書館でのチラシの配布などで宣伝はしているが、なかなか周知徹底できていないのが現状。新規事業であるブログの開設のほか、学校へのチラシ配布など新たな宣伝PR方法も検討していきたい。
(委員) 去年の図書館フェスティバルでロビーコンサートを行っていたが、観覧者が多くとてもせまかった。せつかく見に来てくれても入れない人がいるようだともつたいないと思うがどうか。
(事務局) 昨年ロビーコンサートをしてくださった奏者の方はフルート奏者で、視聴覚ホールでは音がこもりうまく聞こえないということから急きょロビーでの開催となった。会場が狭かったというのは事実なので、改善方法について検討したい。
 - (2) 議案第2号 平成28年度八雲町立図書館予算概要について
事務局より、説明。質疑なし。
 - (3) 報告第1号 平成27年度八雲町立図書館・熊石総合支所図書室利用状況について
事務局より、説明。質疑なし。
 - (4) 報告第2号 平成27年度八雲町立図書館・熊石総合支所図書室事業実施状況について
事務局より、説明。
(委員) 子ども対象の事業(土曜日のおたのしみ会)についてはどのように実施しているのか。当日は保護者が連れてくるのかそれとも学校の引率などがあるのか。

- (事務局) 保護者がつれてくる。そのため落部や山崎など市街地以外からの参加はなかなか難しいのが現状。
- (委員) 土曜日の開催だと学校は休みで引率等はできないので、宣伝はするものの積極的な参加を促すことも難しい。
- (委員) 読み聞かせにはボランティアで参加しているが、参加者がどこから来ているかは調べていないので把握できていない。参加する子は決まってきているように感じる。初めのころは小学校高学年ぐらいの子も多かったがだんだん小さい子の参加が多くなってきていて、保護者が同伴でないと来られないような年齢の子が多くなってきているように感じる。

報告第3号 平成27年度八雲町立図書館決算概要について
事務局より、説明。質疑なし。

報告第4号 移動図書館車について
図書館長より、説明。

- (委員) 以前より若干の不便はあるが、今のところ子供たちに大きなマイナスにはなっていないように感じる。予算がない以上当面のところは致し方ないのではないかと。
- (委員) 当面はワゴンで対応ということだが、今後購入の予定めどは立っているのか。
- (事務局) 現状では即答できない。ただ、図書館バスが1100冊程度の運搬量であるのに対してワゴンでは車によるが200～500冊程度である。同等の量を運搬できない以上移動図書館の質が落ちているのは事実である。なんとかしていきたいとは思っている。
- (委員) 本町と地方にはどうしても距離感がある。本町は充実しているかもしれないがやはり地方はそれなりに不満などもある。同じ八雲町であるのに違いがあるが、その距離感を埋めるのが移動図書館の一つの役割ではないのか。行政というものに費用対効果という言葉当てはめるのはいかがなものだろうか。
- (事務局) 貴重なご意見として参考にしたい。
- (委員) ネット社会になっているから移動図書館はなくてもいいというような話もあるが、それは大人の都合でしかなく、子どもはメールリクエストだって使えない。子どもの場合、目の前で本を選ぶワクワク感や紙をめくるとの楽しさというのは必要なことであり、情操教育のためにも本を読む機会を増やすことは必要なことである。子どものための費用というのは惜しんではいけないのではないだろうか。
- (事務局) 子育て支援に関する費用に関してもう少し踏み込んでいけるのではないかと。総合計画に組み込んでいくような働きかけも行っていきたい。

- 4 その他 報告等について、事務局より説明。
- ・利用者からの投書について
ウォシュレットにしてほしい。
おはなしの部屋で子どもが遊んでいてうるさい。
 - ・試験前などの集会室の開放を検討中
質疑なし。

5 閉会